

こうなる尾花沢市の予算



大相撲開催事業

8月4日に大相撲尾花沢花笠場所が開催されます。小学校3年生から6年生までは無料招待とする予定です。



X線透視診断装置購入 3,802万円

中央診療所のX線レントゲンがデジタル化されます。将来電子カルテに対応するとともに、映像が鮮明になり診断能力が大きく向上します。



市庁舎等耐震診断事業 3,341万円

市庁舎、おもだか保育園、地区公民館、武道館などの耐震診断を行います。



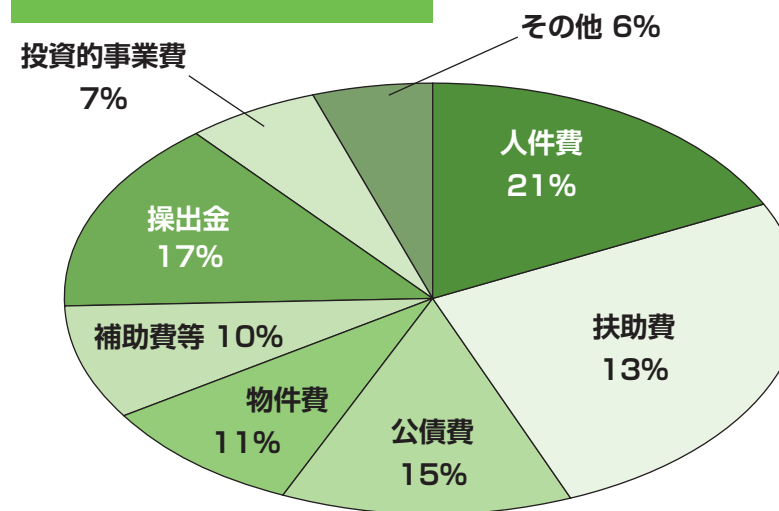
再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援事業 8,456万円

災害時の拠点施設となる文化体育施設には、大地熱を利用した浅井戸型無揚水式融雪設備、徳良湖にはマイクロ水力発電、道の駅「ねまる」には太陽光発電パネルが設置されます。

主な新しい事業

電気自動車用急速充電器設置事業	4,450,000円
除雪基地整備事業（明德小）	15,000,000円
寺内小学校プール改修工事	25,800,000円
雪冷房範囲拡大工事	3,600,000円
鶴子楊水場新設事業	200,744,000円
人・農地プラン作成業務	1,895,000円
新庁舎建設調査事業	1,074,000円
空き家対策事業	400,000円
除雪ボランティアセンター活動費補助金	500,000円
障害児通所給付費	18,486,000円
未熟児養育医療給付事業	1,551,000円
災害時要援護者支援推進事業	1,596,000円
園芸産地雪害防止取組促進事業	1,800,000円
里山林整備事業	5,320,000円
高齢者買物支援事業業務委託	717,000円
空き店舗等を活用した中心市街地活性化事業	2,171,000円
都市計画マスタープラン改訂業務委託	4,827,000円
福原小学校開校準備事業	8,842,000円

一般会計予算



- 人件費**…市長、市職員、市議会議員などの給料や報酬
- 補助費**…生活保護費、児童手当、福祉タクシー券、除雪券などの社会保障制度
- 公債費**…市の借金の返済にあてる経費
- 物件費**…消耗品、光熱水費、備品購入、委託料補助金等、元気な地域づくり交付金、老人クラブ活動費補助金、住宅リフォーム補助金など
- 繰出金**…一般会計から国保会計や簡易水道会計などの特別会計に支出するお金
- 投資的事業費**…道路や流雪溝、防雪柵の新設や公共施設などの建設に要するお金



水道料金 20年ぶりの引き上げ

平成4年以来から据え置かれた上水道、簡易水道ともに水道料金が改訂されます。1ヵ月7㎡までの少量利用者は引き下げ、10㎡以上の方は17.65%の引き上げとなります。



ふれあい推進事業 181万円

少子化対策として結婚を促進するために、結婚活動支援員を新たに配置し、結婚仲介人報奨金も支給されるようになります。

平成25年3月定例会が3月4日に開会しました。平成25年度一般会計予算などの議案の審議が行われ、いずれも原案通り可決成立し、3月18日に閉会をしました。一般会計予算については、地方交付税1億9千5百万円が減額され、自己財源の乏しい本市にとっては極めて厳しい予算編成となりました。議会としても慎重審議を行って決定した今年度の新規事業について特集します。私たち市議会では、大切な予算が適切に執行されるよう見守っていきます。

一般会計
特別会計

98億8百万円
58億7千3百万円

を
可決

特別委員会

『い』なる学校統廃合

Q宮沢小学校のグラウンドは、小学生、スポーツ、大人が使うことになる。ベースの位置などの整備はどうなのか。
A関係者と相談し、支障のないよう整備します。

Q平成26年統合の(仮)福原小学校は、スクールバスを確保するのか。
Aバス5台を確保します。

Q野黒沢堤を通るスーパー農道は安全性に不安がある。スクールバスの運行経路として不適合ではないか。
A現在のところ、最短距離なのでスーパー農

議員全員が

鋭い

質問

道を經由する予定です。安全性確保のため、年2回水門と周辺の点検作業をします。



もつと子育て支援を

Qブックスタートはどのようにしているか。
A出産祝い品に加えて、6・7か月健診のときに絵本を2冊贈呈しています。悠美術館や



ブックスタートと出産祝い品

Q大相撲尾花沢場所を、小学生全員に鑑賞させてはどうか。
A今のところ3年生以上の予定ですが、検討します。

Q障害児の指定放課後等デイサービスはどのように行われているか。

ABESAでボランティアによる読み聞かせをしています。

A平日は13時30分〜17時まで。長期休みは9時〜17時まで実施しています。

農業対策の強化を図れ

Q戸別所得補償制度はどうなるのか。
A平成25年度は、経営所得安定対策に名称が変わりますが、内容は同じです。



分科会委員長報告

第1分科会 (総務文教)

電算システムについては経費削減をはかるため、クラウド化をすすめるにあたって、防災情報や個人情報扱つのでさらなるセキュリティの向上を要望しました。

自主防災組織において、防災訓練に取り組むなど防災意識が高まりつつある中で、さらに推進を図るための支援と組織間の情報交換や周知広報を要望しました。

消防署の体制で新入隊員の増員や救急救命士の1名減によるサービス低下にならないことを要望しました。

小学校の授業で児童の体力向上のため、民間プール利用などを要望したところ、慎重審査の結果いずれも原案の通り可決すべきと決定しました。

第2分科会 (市民厚生)

芦沢駅が無人工化にならないよう要望しました。福原地区の放課後児童クラブ設置計画について、関係者に十分説明を行うよう要望しました。浄化槽設置事業について、指定地区の拡大や水道区域の見直しについて検討するよう要望しました。

中央診療所にデジタルX線透視装置が導入されます。また、入院患者のため、病室にテレビや冷蔵庫を順次設置していきます。

簡易水道について、老朽化した水道管の漏水対策や布設替えの推進を図ると共に、そのための人員を確保するよう要望しました。慎重に審査した結果、いずれも原案の通り可決すべきものと決定しました。

第3分科会 (産業建設)

人・農地プランの作成状況について、1地区が作成済、7集落6地区が作成見込みです。今後とも進めるよう要望し、プランが作成できない地区については市単独で支援していく旨の説明を了承しました。

有害鳥獣被害について、電気柵など効果的な対策をいっそう進めることや、追い払い用花火の補助金を要望しました。また、里山整備事業について、景観保全とともに、有害鳥獣対策としても効果が表れるような整備を要望しました。

道路の舗装修繕や、橋の改修について、適切な対応を要望しました。以上のような審査を踏まえ、付託された案件について原案通り可決すべきものと決定しました。

プレミアム商品券の改善について

Q大型店の利用割合はどれくらいか。商店街だけで使える券と大型店でも使える券を、半分ずつのセット販売にしてはどうか。
A主体者である商店街組合と話し合います。

Q近隣市町村でも使えるようにしてはどうか。
A行政主導では長続きしないので、地域の加盟店が取り組んでいくことと思われま

民生委員を増員せよ

Q民生委員が減少し、負担が大きくなっている。増員してはどうか。
A国の基準に従い、120世帯に一人となっています。国や県に増員を要望しています。



大石田尾花沢線

Q除雪ボランティアの方々に、感謝の気持ちとして軽食を用意してはどうか。
A社会福祉協議会の対応として、タオルを差し上げています。遠方からのボランティアには交通費を支給してい

Q除雪ボランティアの方々に、感謝の気持ちとして軽食を用意してはどうか。
A社会福祉協議会の対応として、タオルを差し上げています。遠方からのボランティアには交通費を支給してい

Q人・農地プランの作成状況はどうか。
Aアンケート調査しましたが、担い手不足や耕作放棄地拡大が懸念されることが浮き彫りになりました。説明会を25回行い、1地区が作成完了し、7集落6地区で作成される見込みです。

除排雪は 道路は

Q市道以外の生活道路は、除雪できないか。
A補助金を出していません。誰かに依頼した場合も補助されるので建設課に相談してください。

Q水上がりになると生活排水が流れず、悪臭が充満する地域がある。対策を講じるべき。
A状況調査のうえ、対策を検討します。

Q国道347号は平成28年に通常通行になる予定だが、現在の国道路線でも積雪のため道幅が非常に狭くなってい

平成24年度の豪雪に 特別交付税 8億円決定

3月臨時議会において豪雪に対応するため除排雪業務委託料1億円、除排雪機械等委託料5千万円を追加補正することを可決しました。

市議会として除排雪等の財源を確保するため2月中旬に関係省庁および県選出国会議員をたずね、特別交付税を確保するための要望活動を行いました。

その結果、他の自治体が軒並み昨年度対比減額される中、本市は昨年度実績を上回る8億669万円の特別交付税を受けられることになりました。

雪に克つ 観光ビジョンを



塩原未知子 議員

Q 3月末日で終了する東北観光博の尾花沢市次世代エネルギーパークがホームページでは人気だったが、成果はどうか。

A 東北観光博では、銀山温泉が単独でゾーン指定され、多くのメディアでも取り上げられ、また、アンケート調査でも高評価を得ています。

「次世代エネルギーパーク」に認定された本市では再生エネルギーを活用した施設などが多数あることから、東北観光博の「滞在プログラム」に掲載した

ところ、尾花沢式雪山簡便冷房システムには、今年度、団体視察として6件、14名の来訪者がありました。

Q 地域雇用創造推進事業の成果として、さまざまな新商品が誕生し、6次産業新規従事者が活動したましたが、来年度以降の事業展開はどうか。

A 3年間で79回の講座数で延べ5,606人が受講し、就職者、起業者を育て、6次産業の振興を図りました。現在、申請中の実践型地域雇用創造事業では、雪に克つ産業の振興とさらなる雇用の促進を図っていきます。

Q 平成26年に山形DOCキャンペーンが予定されているが、市では、どのような観光ビジョ

ンに基づき観光資源の活用を図っていくのか。

A 観光資源を総括する観光ビジョンにつきましては、銀山温泉・徳良湖周辺・花笠高原周辺・おくのほそ道ゆかりの地を十分に活かし、四大まつりの誘客イベントの充実と観光PRを図っていきます。

平成26年度開催の山形DOCに向け、観光資源の磨き上げを行っていきます。

Q 定住促進対策の空き家情報の活用状況はどうか。

A 今年度、本市の空き家登録制度を利用されたのは4件で現在1件が交渉中です。今後は外観や間取りなどを確認し、ホームページで紹介することも、登録情報についてもPRに努めます。

尾花沢警察署の新築と土地利用計画は



大類 準一 議員

Q 自然エネルギーの活用について、小水力発電の設置の拡大を図っているのか。また、校舎や事業所等へ太陽光発電の取り組みを行っているのか。

A エネルギー導入に係る事業の進捗や成果を市民に情報発信していきます。また、学校校舎を活用した太陽光発電について、日照時間が短いことや積雪と除雪の問題などがありま

す。今後、国県の研究改良の成果や花笠の湯に設置されている太陽光発電の実績などを分析し、検討していきます

す。

Q 地下水を活用した融雪施設などを積極的に紹介しているのか。また、助成制度の充実を行っているのか。

A 本市でも「新エネルギー推進会議」を立ち上げ、山形大学院教授のご指導をいただくなど実践的な取り組みを行っているっており、市民への情報公開に努めることにもさらに助成制度の検討をしていきます。

Q 尾花沢警察署の新築用地の見直しはどうか。また、新築に伴い、土地利用計画の見直しや周辺の活性化をどのよう

にすすめていくのか。A 県議会に平成25年度予算として、実施設計及び用地取得予算が計

上されたところです。本市としてもできる限りの協力を行います。

現在の警察署を含め周辺全体の土地利用計画を検討していきます。

Q 鳥獣被害対策について、今後どのように取り組んでいくのか。また、技術的指導、助成措置の拡充について、どのように考えているのか。

A 対策については、簡易電気柵、警戒システムの普及を図ります。平成25年度は、寺内小学校北東部一体の里山を、やまがた緑環境交付金を活用し除伐や枝打ちを実施します。

また、安全安心対策事業を活用し、有害鳥獣対策専門員を1名増の2名体制で取り組むとともに、要望の多かった追い払い用火は、市単独事業として継続支給していきます。

再生可能エネルギーについて



伊藤 精一 議員

Q 本市に適している再生可能エネルギーは何か。

A 森林資源、水資源、地中熱や地下水熱の大地熱、さらには雪氷冷熱などが考えられます。発電、融雪、冷暖房への活用が考えられます

が、産学官民で組織している「新エネルギー推進会議」などの提言を踏まえ、さまざまな視点で調査研究をしていきます。

Q 市の危機管理体制について、市防災計画の市民への周知と自主防災組織の育成指導について伺いたい。

A 市防災会議で地域防災計画が承認されました。市民の皆様に必要な版を作成し配布する予定です。自主防災組織の取り組みを推進するため、防災訓練費用や防災資機材に対し支援します。

Q 交流人口20万人目標達成への方策はどうか。東北観光博の効果を伺いたい。

A 本市では、交流人口20万人を目標とし、4大まつりをはじめとするイベントの開催や、ふるさと交流促進事業を中心とする観光誘客や農産物・特産品の販路拡大のための事業を展開しています。

東北観光博では、銀山温泉が単独でゾーン指定され、観光物産協会を「旅のサロン」、

銀山温泉案内所を「旅の駅+（ぶらす）」として実施してきました。

東北観光博のアンケートでは、銀山温泉観光案内所の評価や再訪意向などで上位に位置し、リピーターとしてお出でいただきましたと期待しています。

Q 食農教育の市内小学校での実施状況はどうか。食農教育の必要性と今後の取り組みについてどのように考えているか。

A 子どもたちが自ら野菜を栽培・収穫し調理実習などに活用し、食と農を結ぶ体験を行っています。また、「たつぶり尾花沢の日」を設け、尾花沢牛や地元産の農産物をふんだんに使った給食を実施し、生産者と交流しながら給食会を行っています。

電柱を地下化し、商店街の活性化と除雪の充実を



加藤 克彦 議員

Q 本町地区の電柱のキヤブ工事を進め、歩道を融雪し、商店街の活性化を図っているのか。

A 電線類の地中化は、良好な景観作りや除排



商店街の電線

雪作業の効率化を図る上で効果的と思われるが、施工方法の検討、初期投資費用や維持管理費の捻出など、多くの課題が考えられます。先進事例の調査研究など、関係課で勉強していきます。

Q 入札制度の一抜け方式と落札後1ヶ月指名無しを見直してはどうか。

A 一抜け方式については、発注が一つの業者に集中しないよう、受注機会の均等を図るため、採用しているものです。1ヶ月要件については、会社規模などを考慮しなが



ら今後、見直しする方向で検討していきたいと考えています。

Q 補助金制度を知らずに申請しない例もあり、今後の周知方法の考えはどうか。また、各制度見直しを考えているのか。

A 補助金制度については対象事業や内容等の拡大に努めています。市報、ホームページ、区長会や元氣な尾花沢を語る会などのあらゆる機会をとらえて周知に努めていきます。

雪にこだわったまちづくりの推進について



青野 隆一 議員

Q 大規模な雪室建設やアルペンスキーを学校教育に取り入れるなど、雪にこだわったまちづくりをどう進めるのか。

A 雪室貯蔵施設は、初期投資費用などの課題はありますが、農産物の高付加価値化の視点から農協など関係機関と検討していきます。

アルペン教室は、今年3校で実施しました。教育委員会としても小中学生のスキー場無料開放のPRで利用拡大を図っています。レンタルスキーの充実、指導者の確保などの課題があります。積極的に

に取り組めるように助言していきます。

Q 老朽化した大石田分署をどうしていくのか。消防職員の市長の部局への出向人事は、早急に解消すべきではないか。

A 救急出動や班体制、消防職員の研修や防災ヘリへ派遣の実態などを把握し、尾花沢市と大石田町が共通の認識を持って議論できるように、検討委員会を設置し、課題の整理をしています。

人事交流については、職員の研修と育成面を考慮し、今後の消防体制を含めて検討していきます。

Q 住宅リフォーム、合併浄化槽、定住促進の補助金を調整して支給している現状について

どう見直すのか。

A 平成25年度より補助対象者の要件から「市の他の補助を過去に受けていない者」を削除し、より補助を受けやすくするとともに市の補助対象工事に「克雪化のための工事」を追加し、その対象範囲を広げる作業を進めています。

また、浄化槽及び指定地区浄化槽設置整備事業費補助金も、平成25年度より、住宅リフォーム緊急支援事業費補助金との調整は行わないよう進めています。



提供：NPO 法人尾花沢総合スポーツクラブ

本市の財政計画と危機管理について



須貝 孝 議員

Q 新鶴子ダムの償還の返済は27年度で終了する。その後のまちづくり計画と財政計画はどうか考えているか。また、25年度予算編成にあたり、どのように歳入を見込んだ予算であるか伺いたい。

A 新鶴子ダム償還後、予想されるまちづくり計画は、一般の国の補正予算に係る耐震診断結果による耐震補強工事や防災拠点としての新庁舎建設、防災行政無線整備、学校統廃合による廃校施設の解体などが考えられますので、今後、財政シミュ

レーションを行い、財政計画に反映していきます。

人口減少の影響により、普通交付税が大幅に減額になることが予測され、また、市税についても、大幅な増収が見込めず、一般財源の確保が相当厳しい状況です。

このような中、平成24年度国の補正予算で臨時的に創設された地域の元気臨時交付金や、過疎債ソフト事業の活用、財政調整基金及び新鶴子ダム償還対策基金の繰り入れにより財源を確保し、予算を編成しました。

Q 危機管理について、消防本署の人員配置の充実が重要と思われる。今後ますます高齢者が多くなり、また、高速



道路も5年前後で全線開通、国道347号線も、通常通行となり事故の多発が予測される。救急体制の充実と、冬期間のドクターヘリの発着地点の整備は、「ねまる」周辺に確保してはどうか。

A 消防救急業務も年々、複雑高度化しており、また、現在職員の世代交代の時期であり、人員確保に厳しい状況です。職員の適正配置や事務事業の見直しを進め、消防力の低下にならないよう努めていきます。

冬季間におけるドクターヘリの離着陸場は、市消防本部と道の駅「ねまる」駐車場となつていますが、「ねまる」は冬季間の除雪や来客者の車の誘導が課題となっています。

救急医療情報キット 全戸に拡大を



小関 英子 議員

Q 救急医療情報キット配布が開始され4ヶ月になるが、何世帯に配布されキットの利用実績はどうか。緊急時に備えて全世帯を対象に拡大してカード化にも取り組んではどうか。

A 高齢者世帯並びに障害をお持ちの世帯など1078世帯に配布しており、救急救命出動

時に4件で活用されました。

拡大については今後検討していきます。

Q 全国では平成10年以降毎年3万人を超える自殺者がでているが、自殺防止もふくめて「心の健康」のために対策はされているか。

A 平成23年度より国の地域自殺対策緊急強化事業に取り組み、市民への心の健康づくり研修会、講演会を開催しています。関係機関と連携し、早期相談による市民の健康確保に努めていきます。

Q 自主防災会が各地域で結成されて、先進的地域との交流と情報交換が行われている。自主防災会強化のために今後どのような対策を考えているか。

A 3・11東日本大震災以降、自主防災組織自ら防災訓練などに取り組む機運が高まっております。

自主防災組織の機能強化を図るため、先進地区の活動紹介や防災訓練等経費の支援をしていきます。

Q 体罰・いじめについて調査がなされ、結果はどうか。子どもたちを体罰・いじめから守るために防止対策は具体的にされているか。

A いじめ調査は、年間3回学期末に行っています。悪質な事例は現在ありません。教科・道徳や生活指導で、内容によっては保護者の理解を得て指導を行っています。体罰調査は、実態把握とともに適切な対応を目的として現在調査中です。



北海道芽室町のペレット製造所の稼働様子



菅野 修一 議員

Q 地球温暖化を防止するとの大命題のために豊かな山林資源を活かした木質ペレット製造所を空き施設など改修して設置し、製造を開始してはどうか。

A 木質ペレット製造の市直営製造や事業化は材料の安定供給が必要であり、採算ベースな

どを含め、慎重に検討する必要があります。

Q ペレットストーブの公共施設へ率先導入を計画し、エネルギーの地産地消計画を立てるべきと思うがどうか。

A 学校などへのペレットストーブ導入は、ランニングコストや価格の面など費用対効果の側面からも調査研究しています。また、平成25年度のみどり環境交付金事業を活用して、公共施設への設置について関係課で協議をしていきます。

Q 法によって手厚い支援と総合的サポートが得られる大臣認定の6次産業化を本市の農山村活性化振興策としてどう施策に盛り込んでいくのか。

木質ペレット製造所の設置とペレットストーブ導入促進を

A 現在、市内で国の認定を受けている件数は1件です。認定を受けることにより、有利な資金や事業実施から実施後のフォローアップまで、一貫した支援が受けられます。

加工品の開発や必要な施設整備を図るために、6次産業化事業計画認定への取り組みを全面的に支援していきます。

Q 行沢橋は減災防災対策上、改築促進を図られてはどうか。

A 行沢橋は昭和47年竣工で年月はかなり経過していますが、点検での健全度は高い評価です。大幅改修工事の必要性はあるものの、技術的な面、財政的な面から市単独での実施は難しい状況です。国や県からの両面支援の要望と、防災対策の観点も含め関係機関との協議を重ねていきます。

就学援助制度の申し込みを しやすくするため、内容の説明を



石塚ミツ子 議員

Q生活保護基準引き下げは、その基準で補助しているすべてが引き下げとなる。引き下げない対策は。

A国の生活保護に係る予算は、基準を見直すとしており、今年8月以降3年程で段階的に行う予定です。できる限りその影響が及ばないような対応が基本的な考えとしてあります。
Q生活が厳しい家庭に支給する学用品、給食代、修学旅行費などの就学援助制度は、生活保護基準引き下げで救済範囲は狭まらないか。制度説明は保護者に十

分伝わっているか。

A生活扶助基準の具体的変化は、現在のところ分かっていません。保護者への制度の周知については、小学校の1年生は、1日体験入学の時に、それ以外は、4月のPTA総会時に資料を配布し説明を行っています。

Q国保財政が厳しいとの説明があつたが23年に国保税引き上げを実施したばかり。また値上げが必要としているようにだが、上げない政治的措置はないのか。これ以上の値上げは生活が一層困難となる。

A国保会計は、医療費の増加傾向や介護納付金などの増額により厳しい運営状況にある。今後の保険給付費の動向、決算などの推移を

見極め対応していかなければなりません。国に対しては、引き続き国庫負担金の増額を要望していきます。一般会計からの繰り入れは、特別会計の主旨、他の医療保険加入者との公平性など、慎重な対応が必要です。

Q生活困窮者の医療費窓口一部負担金の減額及び免除についての要綱ができて1年以上たつたが、その活用状況はどうか。またその活用のための努力はされているか。

A本制度は、入院時に高額医療限度額適用認定証の手続きのさいに、2件の相談があつたが、申請・適用には至りませんでした。今後は、被保険者の負担増に配慮し、市報やホームページへの掲載、窓口への制度概要説明書の備えなどで周知を図っていきます。



星川 睦子 議員

空き家対策の強化を図れ

も待遇改善を検討していきます。

Q空き家対策について、空き家を市に無償で譲りたいという人々がいる。危険な家屋もあり、市が対応できないか。

Q尾花沢市は、毎年150名前後の臨時職員を採用している。契約が1年以内の更新で不安定なうえ、平均年収は155万円と、市職員の3分の1以下である。行政サービスの向上のためにも、待遇改善を図るべきではないか。

A臨時職員の賃金は、平成22年度、月額制から月額制に改正するとともに、職種や経験年数を一定程度考慮し賃金を見直しました。また、休暇等についても改善を図ったところで、有資格者の確保を図るため、今後と



倒壊した空き家

A空き家などの寄付については、維持管理などの課題がありますので、基本的には受付しておりませんが、立地条件などにより、活用できる場合も考えられますので、関係部署と調整を図り検討していきます。

北村山公立病院組合の議会

北村山公立病院組合議会の第1回定例会が平成25年3月21日東根市議場で開催され、平成25年度組合事業会計予算など7議案が上程されました。平成25年度組合事業会計予算は、年間患者数を、入院10万375人、外来10万8780人とし、病院事業収入益を53億1千439万円、病院事業費用を54億3千303万円とし、資本的収入を3億6千22万円、資本的支出を6億6千504万円とするもので、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんするものです。医療器械購入費はマルチスライスCT装備外を購入するものです。平成25年度3市1町負担額は、医師不足に伴う医業収益の減少、施設が建設から長期間経過し、大規模修繕や



スライスCT

設備の更新がせまられていることを受けて、従来の基準による負担金に総額で1億円を追加しました。本市の負担金は8千445万円(実質負担額3千655万円)です。なお任期満了に伴う同病院事務長に寒河江賢一氏(東根市)が再任されました。以上本定例会に上程されたすべての議案は審査の結果、いずれも原案通り可決されました。

北村山広域行政事務組合議会



プラネタリウム



無料で借りられる16mm映写機

平成25年度一般会計予算は1億1千341万4千円、前年度比△6.1%(そのうち尾花沢市の負担金分は2千388万7千円)を可決しました。歳出の主な内容は、視聴覚センターの耐震補強工事とガラス飛散防止工事に466万円、33人乗り児童送迎用バスに680万円など計上し可決しました。

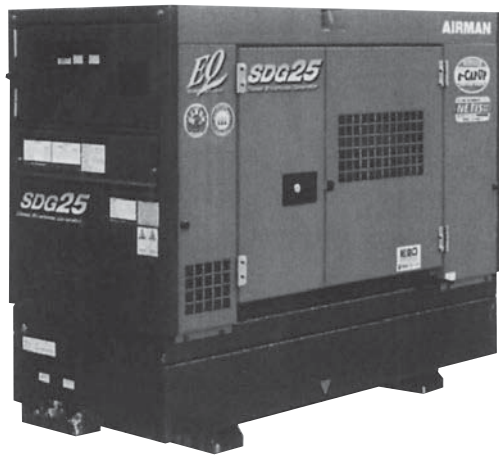
- (1) 教育情報、地域素材などの収集、提供事業としてICT(情報通信技術)活用事例集を作成しての学校教育への活用。
- (2) パンスタース慧星やアイソン慧星の観測会、季節ごとのプラネタリウムと観測会を中心とした一般公開事業「センターまつり」の年3回実施。
- (3) 学校での研修会の開催や幼児施設役員を対象にしたメデア講座の実施などです。

いずれも慎重審議の上、原案の通り可決しました。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

平成25年3月21日、組合議場で3月定例会が開催され、平成25年度一般会計予算(第3号)は歳入歳出総額7億7千507万円となり、前年度対比3.46%減になりました。公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算、平成24年度一般会計補正予算、組合給水条例の一部を改正する条例の制定についてなど14議案を原案の通り可決しました。一般

会計歳入のうち分担金は尾花沢市が4億9千497万円で大石田町が1億7千980万円となっています。なお一般質問では3名の議員が質問し、「し尿処理施設」についての質問が集中しました。し尿処理更新計画支援業務委託については、358万円が計上され環境衛生センター連転管理業務委託料は1億3千71万円となっています。



停電時、上水道に使う発電機